

大会名 Competition	第37回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-111	Year Month Day Time 2024 年 5 月 5 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
日本航空	(17 1st 24 13 2nd 22 24 3rd 22 13 4th 20 0 T)	東 山
67 ●		88 ○

主審:Crew chief
福沢 佳乃子 青森
副審:Umpire
田村 高光 秋田
相澤 慎之介 青森
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高校 女子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
0	／	西田 壮良		0	0	0	0	0	4	／	松島 慎弥		3	1	0	0	0
8	／	菅野 幸世		0	0	0	0	0	5	×	瀬川 琉久	cap	17	1	6	2	2
9	／	井ノ岡 源聖		8	2	0	2	1	6	×	カンダ マヒカ	サロモン	0	0	0	0	3
11		宮野 大知		-	-	-	-	0	7	×	南川 陸斗		9	2	1	1	2
13		糟谷 空彩		-	-	-	-	0	8	／	小野寺 星夢		13	3	1	2	1
21		平林 凌大		-	-	-	-	0	9	／	千葉 颯太		0	0	0	0	0
23	×	オクハワ ルミ・ジエラマイ		28	0	13	2	2	10	／	大本 純弥		0	0	0	0	1
25	／	鈴木 漣		0	0	0	0	0	11	×	佐藤 凧		27	7	3	0	2
30	×	大道 一步		16	0	6	4	3	12	／	藪 元太郎		0	0	0	0	0
34	／	久保田 楓羽		0	0	0	0	0	13		川口 律		-	-	-	-	0
58	×	中西 哲太	cap	0	0	0	0	1	14	×	中村 颯斗		12	4	0	0	1
77	×	高橋 蓮夢		9	1	3	0	0	15	／	ウヰタ ブウヤ	エノック	7	0	3	1	1
78		齊藤 翔大		-	-	-	-	0									
88	／	ジャキチ サカハ モリハ		0	0	0	0	1									
99	×	三村テール アンソニー		6	0	2	2	3									
コーチ		山本 裕						0	コーチ		大澤 徹也						0
アコーチ		鷺山 翔哉						0	アコーチ		山崎 健太郎						0
合計				67	3	24	10	11	合計				88	18	14	6	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	28	41.79%	オクハワ ルミ・ジエラマイ
2	16	23.88%	大道 一步
3	9	13.43%	高橋 蓮夢

1	27	30.68%	佐藤 凧
2	17	19.32%	瀬川 琉久
3	13	14.77%	小野寺 星夢

Score ranking[Game]

1	28	オクハワ ルミ・ジエラマイ	日本航空	2	27	佐藤 凧	東 山	3	17	瀬川 琉久	東 山
---	----	---------------	------	---	----	------	-----	---	----	-------	-----

初日に開志国際を破った日本航空はこの試合が本大会の最終戦。難敵東山に勝って終わることができるか。
1Q、東山は#6サロモンが2本のオフェンスリバウンドを奪うなど序盤のリバウンドシーンを圧倒。#11佐藤が2本の3Pを決め、#5瀬川が2つのスティールから速攻を決めるなど早い展開。シュートを確率高く決め、5-13とリードを奪う。残り5:56でタイムアウトを取った日本航空はリバウンドの改善があり、オフェンスでも#23ジェラマイアが東山#6サロモンとの1on1からダンクシュートを決めるなど本領を発揮する。東山は#6サロモン、#5瀬川が立て続けに2つ目のファウルを犯してしまい交代。終了間際には、日本航空#23ジェラマイアが速攻を決めこのクォーターを17-24で終える。
2Q序盤は日本航空が7連続得点で一気に24-24の同点とする。しかし、ここから東山#15エノックがリバウンドやゴール下で頑張りを見せて突き放す展開になる。#7南川の3Pが決まり26-38となった残り3:35で日本航空がタイムアウト。タイムアウト明けも東山#11佐藤が5得点するなど東山がリードを保ち30-46で前半を終える。
3Qスタートは、日本航空#30大道がジャンプシュートなどで得点する。東山のゆっくりした入りに大澤コーチから「足が止まっている」と檄が飛ぶ。この後、東山は#6サロモンが日本航空#23ジェラマイアの1on1を止めてからの速攻を決め、ここから3連続の速攻。36-59までリードを広げる。対する日本航空も#23ジェラマイアがゴールtoゴールのダンクシュートを決めると、終盤に2本の速攻を含む11連続得点を上げて追い上げ54-68でこのクォーター終了。
4Qも東山は3P攻勢。#11佐藤はこの試合7本の3Pを決める。日本航空も#23ジェラマイアがアリウープからのバックダンクを決めて会場を沸かせるが点差を詰めるには及ばず67-88で決着した。

文責 【 諏訪 寿昭 】